

(仮称)中野区グローバル都市戦略の検討状況について

(仮称)中野区グローバル都市戦略について、以下の内容で検討しているところであり、中野区グローバル戦略推進協議会において協議を進めていく。現在の検討状況について報告する。

1. (仮称)中野区グローバル都市戦略の概要

(1) 策定の趣旨

グローバル経済を軸とした東京や日本における国際競争力の強化が図られる中、今後の都市再生の取組みを見据え、中野区におけるグローバルな都市活動拠点の形成に向けた、持続可能な都市の成長モデルを描いていくことが求められている。

国家戦略特別区域の指定によるビジネスチャンスの拡大、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催を契機としたインバウンドの増加など、あらゆる機会を捉え、中野の立地特性や集積する産業・文化等の強みを最大限に生かし、活力あるグローバルな都市づくりを進めるための戦略を策定する。

(2) 本戦略の性格

本戦略は、中野区グローバル戦略推進協議会における協議、検討を経て区が策定するもので、2040年(25年後)を目標としたグローバル都市づくりの方向性や取り組み等を示したものである。

中野区グローバル戦略推進協議会に参画する産学公金がともに主体となってグローバル都市づくりに関わるにあたり、共有すべき目標や行動の指針となる性格を持つものである。

(3) 検討中の構成案

- 第1章 (仮称)中野区グローバル都市戦略の策定
- 第2章 (仮称)中野区グローバル都市戦略の背景
- 第3章 グローバル都市づくりの方向性
- 第4章 目指すべき都市像
- 第5章 戦略展開構想

2. 策定協議において獲得すべき事項

(1) 基本的な課題認識の共有化

中野区は、交通利便性の高さや都心と多摩をつなぐ立地特性に加え、コンパクトに集積した都市機能、個性的な文化などを強みとする一方、業務集積や誘客につながる資源の少なさ、滞在空間の不足などが弱みといえる。

ポテンシャルの高さを指摘されながらも、機会損失を生じている可能性も否定できず、また、今後進展していく人口減少・少子高齢社会は、成長を阻むものとして脅威と捉える向きもある。

こうした状況を打破していくには、社会経済活動における制約要因の解消とともに、グローバルな視野から社会経済を捉え直していく必要がある。今後の都市再生などの機会を活かし、発展性と創造性に富んだグローバル都市の形成や活動基盤の創出が求められている。

策定協議の前提として、こうした基本的な課題認識の共有化を図っていく。

(2) グローバル都市づくりの方向性の明確化

次の事項を論点として協議を進め、東京や日本における国際競争力強化の一翼を担う、グローバルな都市づくりの方向性を明確化する。

- 都市再生を軸としたグローバルビジネス拠点の形成
 - 中野の立地特性や都市機能、文化などのポテンシャルを最大限に引き出し、グローバルに展開するビジネスの拠点として選ばれる都市づくりを推進していく。
- 集客力と発信力のあるグローバルな都市活動基盤の構築
 - 中野の活力の源泉となるイベントや個性的な文化をはじめ、多様なコンテンツの集客力と発信力強化に向けた、活動基盤や推進体制を構築していく。
- 外国人にも暮らしやすい生活環境の整備
 - ビジネスや観光など短期滞在における地域情報案内、宿泊などのニーズ、長期滞在における住居、医療、教育、就業、生活サービスなどのニーズをとらえ、グローバル化対応に早急に取り組んでいく。

(3) 戦略のコンセプト、取り組み方針の確定

グローバル都市づくりの方向性に基づき、戦略のコンセプトやターゲット、取り組み方針を定め、ロードマップを策定する。

国家戦略特別区域の指定を機に、戦略展開において必要となる規制緩和の提案や事業メニューの活用を積極的に行っていくものとする。

また、グローバル都市づくりに向けた中野区グローバル戦略推進協議会における推進体制や、産学公金それぞれの役割分担を検討する。

3. 今後の予定

平成27年	8月	第3回幹事会	中野区におけるグローバル戦略の検討
	11月	第4回幹事会	(仮称)中野区グローバル都市戦略(案)の 検討
平成28年	1月	第5回幹事会	(仮称)中野区グローバル都市戦略に基づ く取組の検討
	2月		(仮称)中野区グローバル都市戦略をテーマとしたフォー ラムの開催